



ツバメシジミ

見沼自然散策

2024.4.27



カワセミ

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



ツバメ



ツバメ

彼岸を過ぎると南の国からツバメがやってくる。最初にやってくるのはオス。昨年営巣付近に戻り、メスが来るのを待つ。ツバメの鳴き声を「土食って虫食ってまずーい」と聞きなす。ツグミは帰り支度。原っぱに集まり、北帰行



ツグミ



ヤエムグラ



ヤブタヒラコ



アメリカフウロ



オヤブジラミ



ミツバツチグリ



ハハコグサ

←ハハコグサは花卉がない。いつの間にはほどけたように種になるので呆け草(ほうけぐさ)が転じたもの。

→ヤセウツボは寄生植物。ほかの植物の根に根を下ろし養分をもらうから葉緑素は持っていないし、そもそも葉がない。



ヤセウツボ



ミズキ



ハンカチノキ

ミズキもハンカチノキも花をつけた。夜も気温が下がらない季節になると白い花が増える。鳥が寝ている間に活動する昆虫が増えるから、夜でも目立ちやすい白い花が有利となる

トチノキの花は色の違う2種類。赤いほうが両性花で実がなる。黄色いのは雄花。



トチノキの花



クマバチ

フジは正面に大きな花卉を立て下部中央に黄色を配色蜜の在りかをハチに告げる。花にクマバチが止まると下に突き出た花卉の間からしべが出て花粉が腹部につく→ナガメは菜の花の仲間を好むカメムシ。だから「菜亀」。葉の裏に茶碗蒸しが並んだような卵を産む



ナガメ(大きいほうがメス)



ナガメ幼虫